

令和2年度 第3回 学校運営協議会 議事録

令和3年2月22日（月） 14:30～16:00

於：大阪府立守口東高等学校 校長室

書記：笹山 秋生

【出席者】

<委員>

寺本 毅（守口市立八雲中学校 校長）【会長】

竹内 章（大阪成蹊大学 スポーツ&カルチャーセンター長）【副会長】

栗本 太郎（白鳩チルドレンセンター八雲中 園長）

小倉 庸敬（榊淀川製作所 代表取締役）

竹中 美和（本校PTA会長）

竹下 友梨（株式会社ベネッセコーポレーション大阪支社）

<校長> 富永 誠

<事務局>

辻 真人（教頭）

山地 千里（事務長）

笹山 秋生（首席）

平山 智慧（進路指導主事）

【議事】

1 開会の挨拶

2 協議

①進路について…進路指導主事より説明

今年度の進路状況について

今年度の進学状況と取組について

今年度の就職状況と取組について

②学校評価について…校長より説明

学校教育自己診断の結果と分析について

中期的目標の自己評価について

③学校経営計画について…校長より説明

来年度の中期的目標について

来年度の重点目標と取組について

3 意見交換

○進路状況について

- ・3年後くらいに門真の企業跡地に商業施設の誘致計画がある。かなりの求人が見込まれると思われる。
- ・コロナの影響もあり、大学の志願者数は減ってきている。

- ・進学実績の数字に表れない部分で、出前授業の参加生徒が増えていることから、生徒の気持ちが大学進学に向かっているのではないか。
- ・面接で話ができない生徒も多くいると思う。模擬面接を実施するとき、答えた内容に問いかけするような応用の対応も指導に入れるとよいのではないか。
- ・中退防止を考える大学も多いので、面接を重要視してくる部分もある。

#### ○学力の定着について

- ・学力が定着しない理由としては、家庭学習の習慣が身につかないことが小中高大共通の課題ではないか。
- ・家庭学習について、自分で考えて判断させることで、自分で計画を立てるようになった。
- ・家庭時間をどう伸ばすかについて、学力に関して表彰されることが少ないので、表彰するような取り組みもいいのではないのでしょうか。

#### ○ICT化について

- ・プロジェクターが全教室につけば、非常にわかりやすい授業が実施できる。1人1台のタブレットは先生方もしっかり勉強する必要がある。
- ・企業でも先輩がOJTで指導するよりも、インターネットの動画で自主的に学ぶ若者が多い。そのようなツールを有効活用して主体的に計画を立てる時代かと思う。

#### ○その他

- ・教育産業の実力テストについて、成績が伸びている現状を生徒や保護者に伝えてもいいのではないか。
- ・国際交流について、英語圏との交流が将来的には仕事の上で必要となってくるのではないか。
- ・生徒と寄り添い、対話的な学習をもっと活用してほしい。
- ・HP等の記事は生徒に作らせてもいいかもしれない。もちろん先生たちの点検が必要だが。

## 4 閉会のあいさつ

.